# なんでもインフォ 2011.3

発 行　株式会社 昭和土木設計
岩手県矢巾町流通センター南４丁目１−23
E-mail　suzuki@showacd.co.jp
Tel 019-638-6834　Fax 019-638-6389

## ～ 国土交通省 １月～2 月報道資料発表からピックアップ ～

### はじめに

さて、今月号の『なんでもインフォ』は、どのようなテーマにしようかと思い、国土交通省ホームページ「報道資料発表」にアクセスしました。日々の報道資料発表が掲載されており、月ごと、部局別ごとにも閲覧することができます。

ということで、今月号のインフォでは、今年 1 月、2 月の国土交通省「報道資料発表」からピックアップして紹介します。

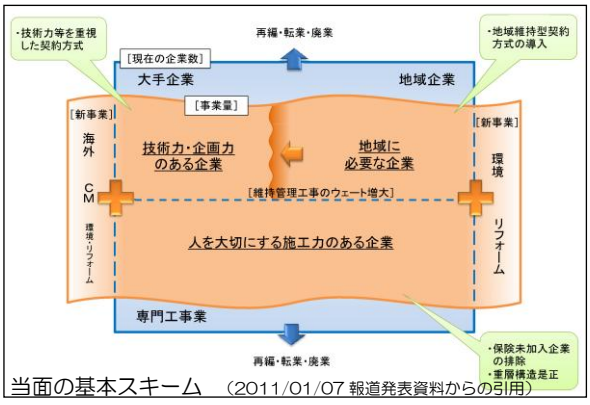
### 2011/01/07 建設産業の再生と発展のための方策

今年初旬に『建設産業の再生と発展のための方策に関する当面の基本方針について』が発表されました。

現在、我が国の建設産業は、建設投資の急激な減少により需給バランスが崩れ、産業全体としてかつてない厳しい状況にあります。特に地域においては、地域社会を支えてきた地域建設業が疲弊し、これまで担ってきた災害対応や除雪のため出動する役割が困難となり、災害等の対応空白地帯が発生する等の問題が指摘されている状況です。

このような状況に対応するため、「建設産業政策２００７」を踏まえ、建設産業の再生と発展を図るための方策に関する当面の基本的な方針を次の要旨によって策定され、発表されています。

**Ⅰ. 地域社会の維持に不可欠な建設企業の再生**
**Ⅱ. 建設生産を支える技能・技術の承継の確保**
**Ⅲ. 大手・中堅企業による技術力・事業企画力の発揮**
**Ⅳ. 過剰供給構造の是正**
**Ⅴ. 基本方針の実現に向けて**




当面の基本スキーム　（2011/01/07 報道発表資料からの引用）

### 2011/01/13 直轄工事における総合評価方式の実施状況

直轄工事における総合評価方式の普及・拡大、ダンピング防止策、入札契約制度に関する諸課題への確実な対応に資することを目的として総合評価方式の実施状況が公表されました。

最高得点者（最低価格者以外）が落札した割合は、技術評価を重視する度合いが大きいほど高い割合になっているようです。

### 2011/02/09・2011/02/16 高速道路無料化社会実験・料金割引関連

2 月の発表資料一覧を見ると、高速道路関連が目にはいってきました。

『高速道路の原則無料化』については、社会実験を通じて、地域経済の効果、渋滞や環境への影響、他の交通機関への影響など総合的に検証することが目的となっています。

東北地方の平成 23 年度全日全車の無料化社会実験対象区間（案）は、新たに、秋田自動車道 八竜～北上 JCT を加えて、10 区間 440km の供用区間となっています。

さらに、『高速道路の当面の新たな料金割引について』が発表されています。

**生活交通（普通車以下）については、**
**・土日祝日 1,000 円[ETC]の継続**
**・平日上限制拡大 終日 2,000 円（軽 1,000 円）**
**・上限制は現金車にも適用**
**・普通車のエコカーの免税対象車 1,000 円**

変更が多すぎて混乱してしまいそうな高速料金ですが、今回決定した高速道路料金の変更は 2011 年 4 月から適用されます。

### 2011/02/01・2011/02/02・2011/02/25 その他の報道資料発表

連日、「霧島山（新燃岳）噴火」「鳥インフルエンザ」対策関連の発表がありました。

その他の報道資料発表をピックアップすると、

**【2011/02/01】**
**・踏切道改良促進法の一部を改正する法律案について**
踏切道改良の指定（国土交通大臣）指定期間を 5 年間延期。立体交差化等に係る指定を受けた踏切道の改良に係る手続の見直し。

**【2011/02/02】**
**・遊戯施設の運行管理の実施状況に関する調査について**
後楽園東京ﾄﾞｰﾑｼﾃｨｱﾄﾗｸｼｮﾝｽﾞに設置されたコースターにおいて乗客が転落し、死亡した事故対策関連。

**【2011/02/25】**
**・降雪時における直轄国道の管理について**
異常な降雪により福島県内の国道４９号、鳥取県内の国道９号及び福井県内の国道８号において、長時間にわたり多数の車両が道路上に滞留状況対策関連。

### おわりに

高速道路無料化関連の発表がありましたが、メリットとしては、物流コストを減らして物価を下げ、地方経済を活性化などです。デメリットとしては、フェリーや鉄道、長距離バスの利用客が減少が考えられます。建設産業の再生と発展の話題も含め、今年のキーワードは『地域産業・地域経済の活性化』ということになるでしょうか。

今後の政府、国土交通省の政策および対策等についての報道発表に注目していきたいと思います。

### 株式会社 昭和土木設計の紹介

弊社は、道路・河川・橋梁等の計画・設計、GIS、IT ソリューション等の業務を行っています。
”なんでもインフォ“は毎月作成し、HP に掲載しています。http://www.showacd.co.jp をご覧ください。

配布者

作成者：コンサルタント事業部
藤野　保